

会 議 等 結 果 報 告 書

会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文書番号	上富自推 第 234 号
		決裁期日	令和元年 12 月 2 日
名 称	住民会長との町政懇談会		
日 時	令和元年 11 月 21 日（木） 13 時 30 分～15 時 05 分		
場 所	消防 2 階大会議室		
出席者	住民会長25名（別紙） 理事者：向山町長・石田副町長・服部教育長 課長・主幹職：林会計課長他13名（別紙） 町民生活課自治推進班：床鍋主幹、大井主事 傍聴者：1名		
内 容	<p>司会：石田副町長</p> <p>○向山町長挨拶</p> <p>今年度は平成から令和へと新しい時代を迎え、期待感をもってスタートした。北海道は穏やかに経過したが、本州においては自然災害により多くの被害があり、色々な要望活動の中で、災害復旧に向けた予算措置を望む声が全国から上がっているのを耳にしたところである。</p> <p>農業については、夏の高温等もあったがどの作物も平年を上回り、出来秋に恵まれた一年となった。しかし、町全体では、10月から消費税が上がったこともあり景気の好転はみられず、商工会と協力し年末に向けてプレミアム商品券事業を取り進めている。少しでも町民に活力を感じていただきたいと思っている。</p> <p>快適に冬を過ごしていただけるように日々臨んでいくので、引き続き皆さんにはよろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>【議題】</p> <p>議題1 町道除排雪について（建設水道課）</p> <p>説明者：建設水道課長より資料1に基づき説明</p> <p>質 問：新雪の除雪が道道と町道で2センチしか変わらないがなぜか。同じでもいいのでは（緑町住民会長）</p> <p>回 答：長靴で歩行に問題がないのは12センチまで。除排雪には年間1億円近くかかっているため、できるだけ経費をかけずに支障のないラインとして12センチとしている。ご理解をお願いしたい（建設水道課長）</p> <p>質 問：どこで測っているのか（宮町住民会長）</p> <p>回 答：町内10か所で測っている。市街地と郊外では雪の量が違うため、それぞれ場所を決めて測っている（建設水道課長）</p>		

質 問：除雪車が来るのが遅く感じるが、人の少ないもっと早い時間に出動できないのか（宮町住民会長）

回 答：2時から2時半くらいに積雪深を測り、12センチを超えているか超えそうであれば3時から一斉にスタートしている。そのためこれ以上早くするのは厳しい（建設水道課長）

質 問：暴風警報が出ているときに除雪を行うか行わないか判断の基準はあるのか（本町住民会長）

回 答：警報が出ている場合、除雪車も前が見えない状態となるためパトロールをしながら判断をしている。吹雪いているときは除雪せずに、落ち着いてから除雪をしている。待機はしているため、臨機応変に対応していきたい（建設水道課長）

議題2 除雪サポーターの募集について（保健福祉課）

説明者：保健福祉課長より資料2に基づき説明

除雪サービスの説明のほか、この事業の除雪作業員が不足していることから協力者を募集中であることを説明。今年度は11月15日の降雪からサービスを開始。現在102件の登録者があり、高齢者事業団で68件、除雪サポーターで34件の除雪を行っている。今年は除雪サポーターとして15名の方が活動していただいている。

質 問：1時間当たり1,650円の賃金とあるが、手作業の場合か。機械での作業の場合、賃金はどのようになっているのか（緑町住民会長）

回 答：除雪機により作業をしていただく場合は、作業は短時間で終了するが手作業と同じ量をやったということを考慮し、作業時間を倍として賃金単価は同じとしている（保健福祉課長）

議題3 冬期の健康づくりの推進について（保健福祉課）

説明者：保健福祉課長より資料3に基づき説明

申し込み方法を昨年と変更している。昨年は職員が申請手続きを行っていたが、今年はおみんのプールスタッフが行うため、土日に関わらず19時まで申請手続きが可能。

【その他】

1 地域医療構想について（町立病院）

説明者：町立病院事務長より資料4に基づき説明

現在、町立病院には一般病床が44床、介護療養型老人保健施設が28床あり、病床数や機能は時代に沿って変更する要素ではあるが、町立病院がなくなるということにはならないと説明。

質 問：これから協議する内容としては、役割分担がメインとなるのか（本町住民会長）

回 答：基本的にはそれぞれの病院の役割分担がメインであり、併せて町に合った病床数や病床機能を検討していく（町立病院事務長）

質 問：スプリンクラーの取り付けには予算はどのくらいかかるのか。将来的には町立病院を建て直す考えはあるのか（丘町住民会長）

回 答：今の町立病院にスプリンクラーを取り付けると1億5千万から2億円ほどかかると見積りが出ている。その見積額もあるが町立病院自体が古くなっており、他にも整備しなければならないところが増えているため、建て替えることを基本的な考えとして進めている（副町長）

質 問：そのことに対する議会の反応は（島津住民会長）

回 答：建て替えについて、今は具体的に賛成・反対の状況になっていない。議会の考えも地域医療をしっかりと守ってほしいということであると思っている（副町長）

質 問：なぜ上富良野がこのように公表されたのか。中富良野や美瑛にも町立病院はあるが何が違うのか（旭野住民会長）

回 答：今回対象になった病院は「急性期」の機能を有した病床のある病院である。国においては「急性期」から「回復期」への移行を進めている。富良野圏域内の医療構想でも「急性期」が120床程度余剰し、「回復期」が足りない状況。中富良野町立病院は「慢性期」の病院として申請しているため、対象から外れている。詳しいことは不明だが、美瑛町立病院も「急性期」ではあるが対象から外れている（町立病院事務長）

2 情報提供

(1) 交通安全について（町民生活課）

上富良野町は交通死亡事故が平成21年12月15日以降発生しておらず、今日現在3,627日となっている。冬のアイスバーンによるスリップ事故や年末年始の飲酒運転の防止などにより、交通死亡事故ゼロを続けていきたい。

(2) 民生児童委員の改選について（保健福祉課）

民生児童委員の一斉改選に伴い、住民会長の皆さんには各地区からの委員の推薦にあたり大変ご尽力いただいたことに感謝申し上げます。12月1日付けで34名中9名の方が新しく委員に就任され、25名の方が再任される予定。男女比は男性14名、女性20名となっており、前回よりも女性の割合が高くなっている。町民周知は広報かみふらの12月25日号で顔写真・連絡先・地区を明示して行う。今後も民生児童委員の活動にご支援をお願いしたい。

(3) 十勝岳の状況について（総務課）

11月1～3日に火山性地震が1日33～50回近く観測されたため、11月3

日には气象台から注意喚起がなされ、4日には新聞報道となった。その後、4日と5日は1日に30回前後だったが、6日以降はほとんど発生していない状態で推移した。そのため、噴火警戒レベルは「1・活火山であることに留意」で継続されている。十勝岳は常時24時間で観測されているため、状況が変われば町民の皆さんにお知らせしたい。

(14時20分)

○意見交換

◆学校における防災教育について

中町住民会長

中町住民会では9月28日に独自で災害訓練を行ったが、学校教育の場で防災教育は行っているのか。上富良野の災害の歴史も大事だが、災害が発生した場合の避難訓練などはどのように行っているのか。

教育振興課長

学校での避難訓練は十勝岳の噴火を想定した訓練や火事、不審者を想定した訓練などを年3回行っている。避難訓練では、町の危機管理室による十勝岳の状況についての講話なども行っている。昨年度、西小学校においては、1日防災学校ということで十勝岳の噴火などの学習を行った。

◆町内会における町内会費未納などの課題について

東明住民会長

10月中旬に町内会長から「町内会費を払いたくないという方がいるがどうしたらよいか」との連絡があった。その町内会は町営住宅40戸、それ以外が15戸で編成されていた。広報かみふらの11月10日号に掲載された町営住宅の入居者募集の記事の中の「入居の条件」によると、「⑥団地内の美化清掃、除雪に努め、地域活動に参加できる」とある。この条件の中に「町内会に加入すること」といった項目を加えてはどうか。

町民生活課長

町営住宅の入居相談の際に地域の町内会等の活動にもご協力していただきたいという説明を加えて対応していきたい。

東明住民会長

今回の入居者募集の申込期間が11月29日までとなっているが、今回入居する方もこの6つの条件だけではまた同じことの繰り返しとなる。何とか早急に対処してほしい。

副町長

町営住宅でも民間のアパートでも一軒家でもそうだが、町営住宅の入居者に町として町内会費の納入を義務付けることは難しい。その地域の方々が会費を支払い、地域のコミュニティを形成するために努力をされていることは

理解しているが、町のルールとして「町営住宅には町内会費を支払わないと入居できない」とすることはできない。地域の中で声を掛け合って、皆さんで協力することに引き続きご尽力いただきたい。

東明住民会長

町営住宅入居者に会費の納入の必要性や役員への就任の必要性について示すべきでは。

副町長

窓口等での町内会加入のPRは可能。これからも力を入れていきたい。

緑町住民会長

ゴミステーションや街灯の管理は町内会費でまかなわれていることを町の広報で周知することも必要では。

町民生活課長

広報かみふらの9月10日号で掲載している。

副町長

引き続き広報等でもPRはしていく。

住吉住民会長

町内会費を納めない方がいると支払っている方から「納めない人がいるなら支払いたくない」というように地域に問題が発生し、コミュニティが崩れていくため、簡単に見逃せない問題である。住吉地区は町営住宅と民間のアパートに住んでいる方が多く、入居者は独居世帯や色々な事情を抱えている方も多い。今後、町内会費など課題提起として申し上げたい。

町民生活課長

町内会の未加入者など様々な問題に対し、地域が抱える事情にもよるので、町としても「こうしては」という判断は難しい。町内会加入の特集を広報でも掲載したが、今後も多くの方に町内会に加入してもらえるように声掛けはしていく。様々な課題については他の市町村でも同じような課題があるため、他の自治体の事例などを参考にしていきたい。

◆ゴミのポイ捨てについて

草分住民会長

昨年から道路へのゴミのポイ捨てが問題となっている。場所は西2線から白金に抜ける道道と深山峠付近である。食べ物のゴミが多いため、野生のキツネ等が畑の中で食い散らかして臭いもひどい。町で外国語のポイ捨て禁止の看板を立てられないのか。今年は特にひどい。何とか要望してもらえないか。

企画商工観光課長

ゴミのポイ捨てはレンタカーを利用している外国の方が多いと考えられる。外国人向けのパンフレット等は各空港に置いてあり、「農地に入ってはいけません」といった注意喚起を行っているが、内容を確認しゴミのことなど

記載に欠けているものがあれば、富良野・美瑛の広域の中で外国人にそのことが伝わるような取り組みをしていきたい。

建設水道課長

国道、道道が特にひどいということのため、道に直接要望をしていきたい。

◆道道の危険箇所の対応について

南町住民会長

道道上富良野旭中富良野線について、加藤新聞店前から中学校へ向かい手前の信号を右折してからの左方向へ向かう急カーブで冬になると車がスリップして危険であり、毎年のようにガードレールに突っ込む車が出ている。また、大型車両は少しでもスピードが出ているとトレーラー部分が対向車線にはみ出し、大きな事故につながる。北海道に現状を説明し、改善してもらうよう要望してもらえないか。

建設水道課長

この道路の左カーブは危険箇所と位置付け、北海道に対し毎年のように状況を説明し要望を行っているが、北海道も優先順位により進めていると聞いており、現在は道道吹上上富良野線の改良工事を重点的にやっていることから、その事業が終わり次第考えていると聞いている。何年後かになると思われるため、通常の維持管理の中で砂撒き等をしっかり行うよう再度要請していきたい。

◆旧東中中学校跡地の活用について

東中住民会長

旧東中中学校が閉校となり5年経過した。施設利活用の色々な話もあったが地区住民の反対もあり決まらなかった経緯もある。昨年も要望しているが、校舎については解体するしかないと思っている。解体後は災害に備えて駐車場や仮設住宅の設置のための「防災広場」として活用できるのでは。町の計画的な事業として取り入れていただきたい。

総務課長

校舎の利活用について、現在の町の考えとしては完全閉校とし、積極的な利活用の計画は持っていない。町の遊休資産の基本的な方針としては、町が直接投資をして利活用するのではなく、処分することを基本として対応している。学校では旧東中中学校と旧江幌小学校の2校があるが、まずは新しい旧江幌小学校の利活用を先に進めている。旧東中中学校は取り壊しをしてもかなりの経費がかかるため、周りに危険が及ばないよう最低限の管理を行っていきたい。町外からも話は来ているが、良いものがあれば具体的なものにしていきたい。

副町長

町が直接運用していく考えはなく、ホームページなどで民間の利活用を募

集している。地域との思いが一致すれば利活用していく考えである。防災広場については、一つの考えとして受けとめていく。

◆社会教育総合センター玄関の除雪について

緑町住民会長

昨年、社会教育総合センター玄関前の除雪を一部していなかったが、今年もしないのか。

教育振興課長

社教センターの前はタイル張りで、雨が降ったり雪がつくと滑りやすくなるため、昨年度から一部除雪をしていない。

緑町住民会長

社教センターは災害時の避難所として設定されているのか。

教育長

避難所として設定されており、町民が同時に避難されても受入に問題はないが、滑って転んだり、転んで誰かがケガをすると順調に避難することもできないと考えている。除雪範囲を広くした場合、滑る場所だと言っても最短の通路を通る方が多いため、今は両側を通れないようにして中央に通路を作り、そこから入っていただいている。今までに何人も転んでケガをしているため、事故防止としてそのように除雪している。昨年やってみたところ、事故が少なくなったため、今年度も同様にしていく。これからも安全確保に努めていきたいと考えており、ご理解いただきたい。

◆職員の接遇について

住吉住民会長

ここ1～2年、一部の窓口を除いたほとんどの課で職員による対応が町民に寄り添い、親密で好感が持てる。電話をしてもすぐに対応をしてくれ、相談すると色々とアドバイスをしてくれたりと好感を持てる窓口になったと感じる。今後も長く続けていただきたい。

副町長

職員の接遇は基本だと思っているが、引き続き向上に取り組んでいきたい。

○向山町長挨拶

本日は大変貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。本日いただいたご意見は身近な問題・課題ばかりである。これからも引き続き皆さんの声を受け止めて、自分のこととして行政課題の解決に努めていきたい。引き続き住民会長との懇談会だけでなく、普段から役場に來た際など地域の課題をお寄せいただきたい。

《閉会》

(15時05分)

町政懇談会終了後、同会場で15時10分から住民会長連合会情報交換会が開催された。